

目指す学校像	安心・安全・信頼を基礎とする地域と連携した潤いある教育活動を通して、生徒・保護者・教職員が共に充実感を楽しみ、落ち着きと豊かさを実感できる学校
--------	---

重点目標	1 ICTの有効活用及び指導法の工夫改善を通し、探究的な学びの深化を図る教育活動を実践する。 2 生命と人権尊重を重視し、自主的な活動を中心とした体験活動を通して、自己肯定感を高める。 3 保護者・地域と理念を共有し、連携した教育活動を推進する。 4 組織的対応と機動力がある職員組織を構築する。
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価								学校運営協議会による評価		
年度目標				年度評価				実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等		
1	【現状】 ○全国学力学習状況調査では全国平均正答率は上回っているが、市学習状況調査と合わせ、市平均は昨年度比較で1～2ポイント差が開いた。 ○学校評価生徒アンケート「授業内容の理解」の肯定的回答は91.7%である。 ○学校評価教職員アンケート「授業の約束に沿った授業の実施」の肯定的回答は100%だが、「十分実施」になると29%となる。 ○教員のICTに関する研修が行われており、また、授業も実践されている。 【課題】 ○生徒の学力が二極化されており、下位層の基礎学力の定着が必要である。 ○家庭学習を含め、学習方法の指導が必要である	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な学びの推進に向けたICT機器の活用</li> <li>探究的な学びを実施するための指導方法の工夫改善</li> </ul>	①「学びの指標」の結果をもとに、指導方法や授業内容等を検討し、授業改善を行う。 ②スクールダッシュボード等を活用し、生徒個々の能力を把握するとともに、個別学習の充実を図るため、スタディサプリ等を授業や家庭学習等に利用する。	①スクールダッシュボードを活用し、個々の能力を把握したか。また、スタディサプリ等を活用して授業や家庭学習を実施したか。 ②教職員評価「教材・教具(タブレット含)の効果的な活用」ができたか。 ③生徒評価「予習や復習の取組」が昨年度よりも上回ったか。						
2	【現状】 ○学校評価生徒アンケートの学校生活充実度に関する項目の肯定的回答はほとんどの項目で90%を越えているが、心に不安を抱える生徒もおり定期的・組織的に相談や支援が求められる。 ○学校生活全体において「時間を守る」「清掃に一生懸命取り組む」など、基本的な生活習慣は身につけている。 ○学校評価生徒アンケート「先生は親身に相談に応じる」の肯定的回答は96%であり、個々に対応することができている。 【課題】 ○心と生活のアンケートから、精神的に不安を抱えている生徒も多く、自己肯定感を高める活動を推進していく必要がある。 ○組織体制を強化し、積極的な生徒指導・教育相談による生徒の心の成長を促す必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒1人ひとりへのきめ細やかな生徒支援・相談体制の充実</li> <li>生徒の自己肯定感を高める教育活動の工夫</li> <li>安全で健康な生活を実践できる生徒の育成</li> </ul>	①生徒の些細な情報でも耳を傾け、迅速な対応をする。また、積極的な生徒指導・教育相談を実施する。 ②報告・連絡・相談・見届けを徹底する体制を強化し、各機関との連携を含め、組織的に対応する。 ③生徒自らが主体となる生徒会活動や行事等、自己肯定感が高まる活動をさらに設定する。	①生徒・保護者評価「先生方は生徒の悩みに親身になって相談に応じる」が昨年度より増加したか。 ②教職員評価「報告・連絡・相談の体制ができているか」が昨年度より増加したか。 ③生徒会朝礼等を活用し、生徒が発表等主体的に活動する場面を多く設定したか。						
3	【現状】 ○学校運営協議会の協議に基づき、地域・学校が連携し、「あいさつが自分からできる子ども」の育成を目指すことが共有されている。 ○学校での生徒の活動の様子について、プリント配付等にて実施したが、速やかな情報提供できなかった。 【課題】 ○生徒と地域の方との触れ合いの場を増やし、地域との関わりを強め、地域に貢献できる生徒を育成する必要がある。 ○学校の情報を速やかに地域・保護者等に伝達し、連携体制をさらに強化していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の地域所属意識を高める地域連携行事の推進</li> <li>小・中連携や地域連携、学校での取組等についての積極的な情報発信</li> </ul>	①地域に貢献する意識を高めるため、また、地域の方と触れ合う機会を作るため、清掃ボランティア等、地域と連携した取組を設定、充実させる。 ②学校課題研究「防災教育」において、生徒が地域の一員としての意識を持つ取組を、地域と相談・計画し、連携して実践する。	①地域と連携したボランティア活動等、昨年度以上に取り組み、充実したものとなったか。 ②来年度の発表に向けて学校運営協議会等と連携を図り、生徒の取組について計画を立てることができたか。						
4	【現状】 ○学習指導や部活動など、指導に積極的に関わる教職員が多く、意識も高い。 ○業務に意欲的に取り組む反面、教職員の体調管理が心配である。 【課題】 ○課題に対して組織的かつ迅速に対応し、個々の負担の軽減を図るとともに学校全体で情報共有ができる組織の構築が必要である。 ○働きやすい職場環境構築のため、校務分掌等、組織の見直しをする必要がある。 ○教員研修に参加する時間を確保する必要がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の協働体制の強化と働きやすい職場環境の改善及び指導力の向上</li> </ul>	①教員間における協働体制をさらに強化するとともに、若手教員育成の環境を整える。 ②校務分掌が特定の教員に負担過多にならないよう、業務内容を精選する。 ③教員一人ひとりが、勤務時間外在校時間だけにとらわれず、効率化を考え、必要な業務を精選する。 ④キャリアナビ等を活用し、指導力向上に向けた研修に取り組む環境を整える。	①「チーム八王子」を意識し、協働体制等を向上させる研修を実施したか。 ②業務を適材適所に割り振り、来年度に向けた校務分掌が設定できたか。 ③職員が業務効率化を意識して時間外在校時間を減少させ、健康を維持できたか。 ④振り返りシートを活用・自己理解して研修等に積極的に参加できたか。						